

300シリーズマネージドスイッチのpingユーティリティ

目的

pingは、2つのエンドポイント間の接続をテストするユーティリティです。pingテストを実行すると、Internet Control Message Protocol(ICMP)パケットが特定の宛先に送信され、接続がテストされます。テストの後、成功のパーセンテージを表示するレポートが表示されます。pingテストは、ネットワーク接続の問題があるかどうかを判別するために使用します。tracerouteは、問題が発生しているパス内の場所を示します。

この記事では、300シリーズマネージドスイッチでpingテストを実行する方法について説明します。

該当するデバイス

- ・ SG300-10PP
- ・ SG300-10MPP
- ・ SG300-28PP-R
- ・ SG300-28SFP-R
- ・ SF302-08MPP
- ・ SF302-08PP
- ・ SF300-24PP-R
- ・ SF300-48PP-R

[Software Version]

- ・ 1.4.0.00p3 [SG300-28SFP-R]
- ・ 6.2.10.18 [その他すべての該当デバイス]

ping テスト

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Administration] > [Ping]を選択します。[Ping]ページが開きます。

Ping

Host Definition: By IP address By name

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

* Host IP Address/Name:

* Ping Interval: Use Default User Defined mS (Range: 0 - 65535, Default: 2000)

* Number of Pings: Use Default User Defined (Range: 1 - 65535, Default: 4)

Status: Ping Succeeded

Ping Counters and Status

Number of Sent Packets:	20
Number of Received Packets:	20
Packet Lost:	0 %
Minimum Round Trip Time:	0 ms
Maximum Round Trip Time:	0 ms
Average Round Trip Time:	0 ms
Status:	Success

ステップ2:[Host Definition (ホストの定義)]フィールドで、次のいずれかのオプションのオプションボタンをクリックして、ホストを定義します。

- ・ By IP Address : リモートデバイスのIPアドレスを使用して接続をテストします。
- ・ By name : リモートデバイス名を使用して、デバイス名が正しく設定されているかどうかを接続テストします。

ステップ3:[IP Version]フィールドで、次のいずれかのオプションのオプションボタンをクリックして、IPバージョンを定義します。

- ・ バージョン6:IPバージョン6がスイッチでサポートされている場合、このオプションを使用できます。IPv6を使用してIPアドレスを定義します。
- ・ バージョン4:IPv4を使用してIPアドレスを定義します。

ステップ4 : ステップ3でバージョン6が選択されている場合は、[IPv6 Address Type]フィールドで、次のいずれかのオプションのオプションボタンをクリックして、IPv6タイプを定義します。

- ・ リンクローカル : IPv6アドレスは、単一のネットワークリンク上のホストを一意に識別します。
- ・ グローバル : IPv6アドレスは、他のネットワークから可視で到達可能なグローバルユニ

キャストIPv6タイプです。

ステップ5：ステップ3でバージョン6が選択され、ステップ4でリンクローカルがIPv6アドレスタイプとして選択されている場合は、[Link Local Interface]ドロップダウンリストから、ローカル情報の受信元のインターフェイスを選択します。

ステップ6:[Host IP Address/Name]フィールドに、接続をテストするデバイスのIPアドレスまたは名前を入力します。

ステップ7:[Ping Interval]フィールドで、次のいずれかのオプションボタンをクリックします。

- ・ User Default：スイッチは、各pingの間に待機するデフォルトの時間を使用します。
- ・ User Defined – スイッチが各pingの間に待機する間隔（マイクロ秒単位）を入力します。

ステップ8:[Number of Ping]フィールドで、次のいずれかのオプションボタンをクリックします。

- ・ User Default：スイッチはデフォルトのping回数を使用します。
- ・ User Defined – スイッチをpingする回数を入力します。

ステップ9:[**Activate Ping**]をクリックし、テストを開始します。

pingテストの結果は、[Ping Counters and Status]領域に表示されます。次に、この情報について説明します。

- ・ Number of Sent Packets — pingが実行された回数。
- ・ Number of Received Packets：接続の反対側でデバイスが受信したpingパケットの数。
- ・ パケット損失：テスト中にドロップされたパケットの割合。
- ・ Minimum Round Trip Time:pingパケットが宛先に到達し、応答を返すために使用される最短時間。
- ・ Maximum Round Trip Time:pingパケットが宛先に到達し、応答を返すために使用される最大時間。
- ・ 平均ラウンドトリップ時間：pingパケットが宛先に到達し、応答を返すために使用される平均時間。
- ・ ステータス：pingテストの結果。